

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第 62 号 2020 年 1 月 16 発行

+++++

新年あけましておめでとうございます。皆様にとって楽しい年になるように願います。本年は雑穀の調査研究を始めた初心に帰って、山村農、降矢静夫さんからの手紙を学び直すことにしました。

資料整理が博物館の主要な作業です。植物腊葉標本の他、写真スライドなど、図書を整理しています。これらを利用していただけるとうれしいです。会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。友の会会員になっていただければうれしいです。また、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人にぜひ広く転送伝達していただけるとありがたいです。なお、自然文化誌研究会の全体の環境学習活動は会誌「ナマステ」季刊でお知らせしています。

○報告

雑穀街道普及会：

12 月 9 日、雑穀街道普及会藤野は宮本農園さんを代表にして発足したそうです。2023 年はインド政府の提案で計画を早めて、12 月初旬の会合で FAO 国際雑穀年に決まったようです。

○予定

1. 植物と人々の博物館

1) 開館・作業予定日：2019 年 1 月 27 日、2 月 7 日、21 日、28 日ほかの予定（原則金曜日）です。植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示解説をしています。ご利用くださるとともに、作業にご協力いただきたく、よろしくお願ひします。ご利用や協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、上記以外でも日程調整します。森とむらの図書室（小菅と藤野）では順次資料の整理をし、蔵書リストはホームページで公開しますので、ご利用ください。場所は小菅村井狩集落バス停近く、旅館（細川邸）の前、道の駅臨時駐車場の坂を下ってすぐです。

2) 極小展示： ヨーロッパの観光旅行で集めた小物工芸品など。

3) 栽培保存種子： 雑穀類アワ、キビ、ヒエ、モロコシ、ハトムギ、オオムギ（六条、モチ在来）、コムギ、半白キュウリ、香辛料ディルなどの種子が欲しい方にはお送りします。ぜひ来年に楽しく栽培して増やしてください。

4) FAO 世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道普及会』の資料を充実しています。雑穀街道に関する趣旨説明や植物と人々に関する自然誌・文化誌の講義など、博物館担当研究員が無償出張で行いますので、ご連絡ください。

5) 日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば日時・場所・話題などを調整して、読書会を開催します。

6) 民族植物学ノオトは次の第 13 号からは電子出版のみにし、原稿は 2020 年 2 月末までの受付にします。いつでもご寄稿を歓迎します。①インドの農業書、古典等に見られる穀物、②まねごと山村農ほかを準備しています。

これまでのすべての記事 pdf は植物と人々の博物館ホームページ（ミュージアムグッズ）で読めます。国会図書館にも全号所蔵されています。バックナンバーは僅少ですが、希望者に差し上げます。メールマガジンもすべて記録してあります。会誌ナマステは自然文化誌研究会のホームページで読めます。

自然文化誌研究会と植物と人々の博物館のホームページを国会図書館 e デポに自動収録の登録申請の準備をしています。登録認定されれば、デジタルデータは漸次更新収録され、国会図書館において閲覧できるようで、自然文化誌研究会の活動記録を公的機関に残すことができます。

7) 電子書籍：今のところ出版の意思はないので、確定稿については、「植物と人々の博物館」ホームページのミュージアム・グッズに電子書籍の項を作って国会図書館のデジタル e デポに自動収集してもらうようにします。なお、次の電子書籍は順次必要に応じて改訂していきます。まだ、数年は書き続けるので、確定稿に至ったら、同上の通り、順次、「植物と人々の博物館」ホームページに移行します。当面は下記の雑穀・民族植物学関係個人ホームページで一部を読めます。このホームページも大幅に書き換えて更新する予定です。

『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、南アジアについて、個人の現地調査の体験をまじえ、自由に書いています。『日本雑穀のむら』は第 5 章中部地方の雑穀文化複合、補論 3 副食主菜の起源を検討しています。

『第四紀植物』および“Essentials of Ethnobotany”はまだ非公開ですが、栽培植物の起源の進化植物学、伝播の民族学などを書き進めています。

『雪虫』降矢静夫俳句集～甲武境の村・西原に生きて（1998）の初版 pdf をとりあえず「植物と人々の博物館」ホームページに復刻します。現在、親交のあった安孫子さんが増補改訂版を作成するように再度作業をなさっています。また、山村農人、降矢静夫師（俳号光岑）の人生哲学を深く学ぶために書簡および対談テープ（木俣宛約 300 通、20 本余）もすべて文字化することにしました。降矢さんとの約束を果たすために、『山村農の教養』（仮題）としてまとめたいです。

8) 森とむらの図書室

寄贈冊子：お米の勉強会会報、クリンネス、現代農業、うかたま、季刊地域、グリーンもあ、グリーン・ウォッチなどをありがたく頂いています。「コミュニケーションレター コム」（2019.12、No.181）は雑穀街道の特集をしてくださいました。

会員雑誌：雑穀研究、南アジア研究、環境文明 21 会報。

2. 自然文化誌研究会総会

2020 年 2 月 25 日、13 時から 15 時、藤野中央公民館予定。

3. 雑穀街道普及会：

1) 2020年1月27日午前10時、上野原市の富澤さん農業委員、吉野さん協力隊員が、植物と人々の博物館を訪問していただきます。

2) 相模原市緑区の賛同を得ました。2023年は国際雑穀年になりますので、賛同者を広く募っています。FAO世界農業遺産申請に向けて賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。FAO世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いいたします。また、普及作業と一緒にして下さるとありがたいです。

3) 下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で閲覧していただけます。ご確認の上で、賛同の意思表示をお寄せいただければうれしいです。 <http://www.millettimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』第3章関東地方・第4章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.millettimplic.net/milletworld/millet/sn/jnmpilvil.html>

○ お知らせ 関心のある団体から

1. 家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン

1) 日時：1月21日（火） 13:00～16:00（12時30分開場）

※12時20分までに、会場となる衆議院第2議員会館玄関ホールで入館証の配布を始めます

場所：衆議院第2議員会館（東京都千代田区永田町2-1-2）1階 多目的会議室

内容：新食料・農業・農村基本計画への家族農林漁業プラットフォーム・ジャパンとしての提案（家族農業の10年を実施する国内行動計画の素案）をまとめるためのワークショップ

対象：家族農林漁業プラットフォーム・ジャパンの会員、オブザーバー

資料代：500円

2) 日時：1月31日（金） 13:00から16:00（12:30開場）

※12時20分までに、会場となる参議院議員会館玄関ホールで入館証の配布を始めます

場所：参議院議員会館（東京都千代田区永田町2-1-1）1階 講堂

内容：新食料・農業・農村基本計画への家族農林漁業プラットフォーム・ジャパンとしての提案（家族農業の10年を実施する国内行動計画の柱）の記者、国会議員および一般向け発表

対象：記者、国会議員を含めた関心のあるすべての人々（会員、オブザーバーを含む）

資料代：500円

3) 資料を用意する関係で、お手数ですが、2つのイベントについて、以下のサイトで事前登録していただくと助かります。 <https://ws.formzu.net/fgen/S34769478/>

4) ご関心の方は是非ご入会ください。連絡先は下記です。

E-mail: info@ffpj.org URL: <https://www.ffpj.org>

Facebook: <https://www.facebook.com/ffpj2019/> Twitter: [@FFPJ2019](https://twitter.com/FFPJ2019)

「小規模・家族農業ネットワーク・ジャパン」には個人で賛同し、ホームページに意見を掲載していただきました。

<https://www.sffnj.net/single-post/2019/05/01/voice-mikio-kimata>

2. 有機農業研究会／家族農業研究会

<提携フォーラム & 第9回CSA研究会> 「有機農業：提携、CSAの原点と今」
—「大平農園 401 年目の四季」上映とシンポジウム—

●日時 2020年2月8日(土) 10:30~17:00

●場所 國學院大學 5号館 2階 5201教室

●申し込み 氏名・所属・メールアドレス・交流会参加希望の有無、を明記のうえ、2/5(水)までに、下記メール宛にお申し込み下さい(当日参加も可能)。

CSA研究会事務局 info@csa-net.sakura.ne.jp

<会場アクセス> 住所：東京都渋谷区 4-10-28 「JR渋谷駅」から徒歩15分
都バス 東口54番のりば 「学03 日赤医療センター行」

地図：https://www.kokugakuin.ac.jp/about/information/campus_shibuya

日本有機農業研究会のホームページ <http://www.joaa.net>

CSA研究会のホームページ：<http://csa-net.sakura.ne.jp/wp/>

~~~~~

自然文化誌研究会(東京都日野市)：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳(東京)、小川泰彦(埼玉)

ミューゼス研究会／トランジション小菅(山梨県小菅村)：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館(山梨県小菅村)：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男(東京)、西村俊(石川)、藤盛礼恵(千葉)、川上香(長野)ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦(山梨県小菅村) [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

雑穀・民族植物学関係の個人HP：生き物の文明への黙示録

<http://www.milletimplic.net/>

~~~~~

年賀の刺繍 スペイン、アルハンブラ宮殿庭からグラダナ旧市街を望む
(賀状のコルドバ旧市街は間違い)

